



コロナの早期収束願う



川西会々長
森田 光雄
(大塚)

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年もコロナの影響で、会報発行以外にほとんど活動ができませんでした。その中で、少しでも川西町・山形県の経済の立て直しに役立ててもらいたいと、米沢牛や芋煮会セット、故郷やまがた応援セットの通信販売情報を提供させていただきました。応援していただいた皆様方には厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月コロナが少し落ち着いていたということで約2年ぶりに理事会を開催しました。多くの役員の方々に集まっていたいただき、近況等をお聞きしました。ある役員の方はテレワーク勤務が主流になり、家にいる時間が長く地域のラジオ体操へ参

加したり、農園を借りて野菜作りを始めた方もいました。ともかく元気なことを確認できたことが大きな喜びでした。

日本語は難しいといわれますが、皆さん飲食店等でお店の人を呼ぶときどんな言葉を使うでしょうか。「すみません」という方も多いのではないのでしょうか。なぜお店の人を呼ぶのに謝るのか。せいぜい「お願いします」くらいがちょうどよい言葉じゃないと、ある人から言われて妙に感じ入ったことを覚えています。「見れる」「食べれる」「着れる」等の「ら抜き言葉」も間違いとまでは言えないという説があることは知っています。ですが、「すみません」も誤用とまで言えるかどうか諸説があるようです。まったくもって日本語は難しいと感じています。

2月には冬期オリンピック・パラリンピック大会が開催されます。昨年の東京大会では日本人選手のメダルラッシュで大いに盛り上がりましたが、今回も是非その再現を期待したいものです。

結びに、今年一年が皆様にとりまして健康で充実した素晴らしい年になりますようお祈り申し上げます。

今年の抱負



川西町長
原田 俊二
(中郡)

新年あけましておめでとうございます。新年のご挨拶も直接お会いして交わさないと何となく実感のわかないものとなりました。本当に寂しい限りです。皆さん方には健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。コロナ禍も3年目を迎え、変異株が発表されるたびに感染の波がやってきました。ワクチンや手洗い、マスク着用、換気などで感染を防止できます。「治療薬が誕生、人の往来も復活」と初夢を見ました。もう少しの我慢ですね。

昨年は町の長年の課題であった役場新庁舎が完成、5月6日に開庁しました。町民に使いやすく、職員が働きやすい役場を念頭に様々な方の意見を取り入れ整備しました。町内外の評価も高く私たち担当した者は安堵しています。今後は町の顔として、そして何より町民の安全安心を守る拠点として生かしていきます。東京川西会の皆さんからもご支援を賜りありがとうございます。

令和4年の重要事業は、旧役場庁舎や中央公民館等の解体、そして街中の活性化を図る拠点施設の整備で

す。

「役場が駅東側に移転し駅西側が寂れてしまった」との声がありますが、小松には他の地区にはない豊富な地域資源があります。30年前横沢三男町長さんが構想したフレンドリープラザを核とした「であいの丘」、浴浴センターまどかを核とした「ふれあいの丘」の二つの丘を結ぶ交流拠点とした「にぎわいの丘」をコンセプトに、小松町の歴史や文化を感じさせる風情を生かした拠点を整備したいと思います。今後多くの町民の皆さんと議論を重ね基本設計を作成します。一方賑わいの創出には様々な方のアイデアや企画が必要です。今後民間の投資を含め町内外から町を盛り立てていく地域づくり人材の育成を支援していきます。

地方創生総合戦略に位置付けるメデイカルタウンの整備は順調に進んでいます。現在建築中の内科、整形外科の二つの診療所と調剤薬局が夏前に開業します。商業施設、住宅地の造成工事が進み、秋には宅地分譲が始まります。国道113号バイパス梨郷道路並びに国道287号川西バイパスの整備も令和5年度開通に向け急ピッチで工事が進んでいます。この地区を置賜の中心として医療福祉はじめ生活の機能を強化し、地域の活性化を図っていきます。

今年こそは皆さんとリアルにお会いし、楽しい機会をたくさん作りたいたいと思います。総会、夏祭り、芋煮会など森田会長さんはじめ役員の皆さんにはご負担をお掛けしますが、どうぞよろしくお願ひします。

皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

新年のご挨拶



川西町議会議長
鈴木 幸廣
(中郡)

新年あけましておめでとうござい
ます。

一昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大により、日常生活に多大な影響をもたらしている中、東京川西会会員の皆様方にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年5月6日に川西町役場の新庁舎が開庁いたしました。これ一重に町民の皆様と東京川西会会員の皆様方のご厚情の賜物であり厚く感謝申し上げます。

本町のダリヤ園の昨年のことを少し述べさせていただきます。8月1日にオープンしましたが長雨の影響により開花が少し遅れ8月いっぱい

は無料入園となり心配をしましたが、その後順調に生育し9月19日には開園以来1日の入場者が3500人と過去最高の入場者となり、年間では約5万4000人となりました。

コロナ禍においては予想以上の賑わいとなりダリヤ園関係者の皆様も喜んでおります。東京川西会の皆様も是非本年はダリヤ園や、新庁舎へ足を運んで頂きます様お願ひ申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の収束を願ひ会員皆様との交流・懇談の機会がいち早く訪れることと、会員皆様にとりまして素晴らしい年であることを心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

芋煮会の復活を期して!!



川西町教育委員会
教育長
小野 庄士
(玉庭)

明けましておめでとうござい
ます。今年こそは、なんとしても本会の最大行事である芋煮会が開催されま
すことを心からお祈り申し上げます。

今も昔も芋煮会の案内があれば、誰もが万難を排して参加しようとするのはどうしてだろうか。私の頭の中
にすり込まれている妄想の世界は、

小学校時代に遡ります。全校生徒がそれぞれのリヤカーに、各家庭から持ち寄った食材や大鍋を大量に積んで、旧新倉峠のなかほどにある大きな堤に出かけました。ただ、あまりに子供が多いので、半分は人気の炊事班に、残りの半分はキノコ採り班に分けられました。私はいつもじやんけんにかけて、キノコ採り班でした。採ってきたキノコの鑑定人は先生で、シメジ以外は鍋に入れ、腹膨れるまでおかわりをした記憶はあるのですが、あの立派なシメジの塊はどうなったでしょうか、今も不明です（先生が食べたに違いありません）。

結びに、近くのスーパーから芋煮会の材料を買い込み煮炊きをして、あの時の味にも漂った木々が焼けるときの匂いにも出会えませんが、秋川溪谷で一堂に会して開催すれば、運良く再会できるかもしれません。皆様・ご家族様が健康で活躍され、お会いできますことをご祈念申し上げます。新年のあいさつとします。



泊まつて

食ベテ

入浴して

まどか

川西町浴浴センター まどか

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松 5095-36

TEL 0238-42-4126 FAX 0238-42-4100

http://www.k-madoka.co.jp/

新年のご挨拶



川西町観光協会会長

渡部 順一

(小松)

明けましておめでとうございます。会員の皆様には健やかに新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

近年、着地型観光という言葉が聞きますが、例えばこんな話ですかね。

神田駅前の酒蔵直営店でシルバー二人の会話「コロナで出かけられなくてまいったよ、せめて居酒屋で飲むぐらいだよな。そうだよな、でも田舎のダリヤ園さあ、今年は5万人入ったらしいぜ。へえ、大型バスの客が次々と来園かい。そうじゃなくて個人とか小グループが多かったらしい。今は団体旅行が減ってきたそうさ。それよりも気に入った仲間同士が、気に入った場所を自分たちで選んで好きなように行動するのがナウいらしい。前は、旅行会社にお任せでバスの中で飲んだくれていたのになあ、今考えるところもないな。つたね。そうだよ。田植えが終わって緑の絨毯が風になびく風景なんて貴重なものだよ。どうだい、来年は懐かしの風景探しに田舎に出かけて見ねが。んだな、俺はウォーキングであぜ道を歩きでな。俺はわらび採

りしつちえな。あど風呂さも入りでし、山菜で一杯もええぞで。」こんな話で五本目のお鮎子が転がった。自分のしたいことや食べたいものを好きなように組み立てる旅、それが着地型観光。いわばビュツフエ旅。皆様、いかがですか。

年頭のごあいさつ



川西町商工会会長

寒河江 輝文

(吉島)

新年明けましておめでとうございませう。

東京川西会々員の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

令和2年に続き昨年も新型コロナウイルス感染症拡大防止の為様々なイベント等が中止となりました。更には、県知事からの要請で飲食業界では営業自粛の要請があったり、建築業界においては、ウッドショックによる建築資材の高騰等が重なり大変な1年でした。

そんな中「東京川西会総会や地酒と黒べこまつり」等も残念ながら中止となりました。ご案内のとおり、当町では人口減少や高齢化の

広がりによる、消費活動の低迷、コロナ禍も追い打ちとなり町内経済は大変厳しい現状が続いておりますが、「ふるさと川西」を穏やかに活気溢れるまちにと、令和の時代に相応しい活動を行うべく商工会役職員並びに会員一同力を合わせて頑張る所存でございます。

東京川西会々員の皆様のご健勝と、益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ



山形おきたま農業協同組合 川西地区代表支店長

小形 喜代之

(吉島)

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当JJA事業各般にわたり、ご理解ご協力を賜り心から御礼申し上げます。昨年の春は、当初温暖だったものの四月の降霜にて、果樹(サクランボ・ブドウ・リンゴ)及び野菜等に影響が出てしまい、川西町も含めた置賜地方の収穫量に大変大きな影響が出てしまいました。更に、町の農業の中心でもある水稲

おいしい自然いちはやく、四季ある幸せ、JA山形おきたま。

山形おきたま農業協同組合

川西支店 / 〒999-0121 川西町大字上小松1735-1
TEL 0238-42-3125 (代) FAX 0238-46-3128

川西経済 / 〒999-0121 川西町大字上小松1034
支店 TEL 0238-42-2150 (代) FAX 0238-46-2354

については、例年並みの作柄にも関わらず、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症による景気の停滞や外食産業の営業自粛による、お米の需要が驚く程減少した影響にて、大きく米価が下がり農家の所得が減少してしまっており、JAとしても大変危惧しております。

その様な昨年でしたが、地元農家の皆様は、田舎を離れた皆様にも今後【安心・安全】な農産物を提供して参ります。今後とも地元川西を始めとする置賜地方の農産物をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴会の益々のご発展と皆様に幸多き年であります事をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

ゆらゆらとゆらめく炎！雪の中



やまがた里の暮らし
推進機構理事長
登坂 賢治
(東沢)

新年おめでとうございます。皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申しあげます。日頃は故郷「かわにし町」に熱い思いとご支援を頂き誠にありがとうございます。

昨年も、七回目となります東京上野での、豆の展示会「小さなマメテン」に多くの皆様にご来場頂き、また川西出身の方々には温かい声を掛けて頂きました。本当にありがとうございます。いまだコロナ禍では有りますが「里の暮らし」では町の魅力や田舎の良さを、様々な事業を通して情報発信しております。ぜひ一度「農村体験事業」などで川西を訪れて下さい。秋の味覚も十分に堪能されましたか、山形は美味しい果樹や野菜が沢山あります。ふる里の味付けが恋しい季節でもあります。湯気の立つ真っ白なご飯には、何が合うのかな・・・？

川西町はそろそろ雪の季節になります。一晩に二十〜三十センチも新雪が積もり、吹雪には前が見えないほどです。そんな季節も農家にとっては少しのんびり出来る時期でもあります。一面の銀世界の中、家のストーブの前で薪のゆらゆらとゆらめく炎を眺めながら、のんびりと一服、餅を焼いたり、熱いお茶を入れたり、茶釜の沸騰する音も湯気も芸術的。夜であれば美味しい漬物をつまみながら片手には熱燗を・・・今宵は何を語りましょうか。こんなひとときを「かわにし」で過ごして見ませんか。

川西町の最新情報

▼お越しいただきありがとうございます！「第2回小さなマメテン」

10月23日、24日、東京都上野にて「第2回小さなマメテン」を開催しました。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、昨年度に引き続き規模を縮小して実施となりましたが、今の町の様子や町の食材の紹介など、小さなイベントながらも多くの方に本町の魅力をお伝えできた2日間になりました。

毎年楽しみに待ってくださっている皆様、実際に足を運んでいただいた皆様、本当にありがとうございます。

▼川西町役場新庁舎のライトアップが行われました

11月12日から25日、内閣府などが主唱する「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、女性に対する暴力根絶のシンボルカラーである紫色にライトアップされました。夕方から夜にかけて役場新庁舎は色鮮やかに照らされ、町職員や住民の方々の目に留まる機会となり、女性が輝く社会づくりの実現に向けて大きな一歩を踏み出す良い取り組みとなりました。



▼都市部で行われるイベントへ出展しています

10月中旬頃から全国的に新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着き、イベントへ出展する機会がだんだんと多くなってきました。10月、11月に移住希望者向けのイベントへ2回出展し、来場者の皆さんと直接お話し話ができる貴重な時間を過

ごすことができました。イベントでお会いできたことをきっかけに実際に町へ足を運んでくださる方もおり、イベント出展がなお有意義なものとなりました。

コロナ禍の中、これまではオンラインでのイベントがほとんどであり、約2年ぶりに対面形式のイベントに出展させていただきましたが、やはり直接顔と顔を合わせてお話するからこそ町の雰囲気や暮らしをイメージでき、信頼関係を築き上げることへのつなげられるのだと強く感じました。

新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、今後もさまざまなイベント出展の機会があると思いますので、情報を目にした際はぜひ周辺の方へ町の紹介とともにイベントについてもお伝えいただけますと幸いです。

○お問合せ…町まちづくり課
0238 (42) 6613

▼川西町メディカルタウン
来秋にも宅地分譲開始

メディカルタウンは、公立置賜総合病院が置賜地域の中核医療施設として発展するため、病院周辺に医療、住宅、商業などが融合した都市的機能を持つ新エリアの形成を図る取り組みです。

これまで、インフラ整備を行い民間事業者の誘致活動を進め、町民の皆さんの意見をお聞きしながら計画を進めてきました。新型コロナウイルスの影響で計画に一部遅れも出ましたが目に見える動きも出てきました。

公立置賜総合病院を南北に通る町道高田仲沖線の東側に位置する商業エリアには、「内科・呼吸器内科いなり内科医院（仮称）」「整形外科まつきクリニック（仮称）」「なないろ調剤薬局（仮称）」「株式会社ヤマザワ」「ソルハドドラッグ」の5つの事業者の進出が決まりました。来年度以降の開業に向け造成工事が進められています。

町道高田仲沖線の西側に位置する住宅エリアでは、先行して17区画の宅地分譲を行うため現在造成工事を進め、令和4年秋の分譲開始を予定しています。販売価格や申込方法は現在検討中です。

町は、メディカルタウン整備を通して定住人口の創出、交流人口の拡大、地域経済の活性化を目指していきます。

今後新たな動きがありましたら、改めてお知らせします。

○お問合せ…町政策推進課
0238-42-6604

メディカルタウン整備重点区域内配置計画



事務局だより 新会員のご紹介

鈴木 由佳子様 柏市在住(犬川)

お悔み

岩本 邦男様 令和2年12月
江本 孝子様 令和3年 7月
井上 功 様 令和3年 8月
謹んで哀悼の意を表し、お悔み申し上げます。

庶務日誌抄

九月十五日 会報第87号発行
十二月四日 役員会

いも煮会、研修会・忘年会、東京地区行事は、コロナ感染拡大防止のため中止といたしました。

編集後記

令和四年の新春、明けましておめでとうございます。しばらくぶりの厳冬となり、川西町の皆さんは雪下ろしやその処分に苦労されているのではないのでしょうか。

いよいよ感染力が高いと言われるオミクロン株の市中感染が始まりました。ただ、デルタ株よりも重症化しないらしいことが救いです。いままでもこれでもかといやになるほど三密を避ける行動をとってきましたが、更に更に警戒感を高め三密忌避を徹底していくしかありません。

今回のお正月は、久しぶりに実家

商品の発送承ります

かわにしのいいものを集めた『かわいい』

かわにし 森のマルシェ



〒999-0122
山形県東置賜郡川西町大字中小松2534
TEL 0238 (42) 6664 FAX 0238 (42) 6665

の玉庭で過ごし、友人たちとも酌み交わしたい、新庁舎も覗きたい、協賛広告をいただいている各商店等も回りたいと念願していたのですが、土壇場になって雪は吹き荒れるし、不要不急の外出自粛は求められるし、身内の不幸まで重なるしで、遂に諦めざるを得なくなりました。
今年こそ東京川西会の総会が開催できるよう念願しています。今のところ5月15日の日曜日を候補日にしておりますが、決行できるかも含め、詳細は4月の第89号でお知らせいたします。
寅という字は、弓矢を両手で引き

信頼を基に地域を開発する

 **川西町商工会**

〒999-0121
山形県東置賜郡川西町大字上小松1736-2
電話 (0238)46-2020 Fax (0238)46-2022
E-mail:kawanisi@shokokai-yamagata.or.jp

絞る形の象形文字ということですが。満々と蓄えた力を解き放つ動き始めの年ですので、コロナに凍えた生活や経済を一変させる飛躍の年となることを切に期待しています。

東京川西会 会報 No.八十八号
発行「アルカディアの里」東京川西会
発行責任者 会長 森 田 光雄
編集者 事務局長 鈴木 茂
〒362-0064
埼玉県上尾市小敷谷一〇五八・七一
TEL・FAX 048-725-3249
携帯TEL 090-4952-3397

農家発!! 愛情たっぷり

杵つきもち

(有)大塚もち加工センター

TEL:0238-42-5159 FAX:0238-42-5336
〒992-0601 山形県東置賜郡川西町大字西大塚1267-7

地元直産